

試合番号 : 247	試合会場 : 旭川市リアルター夢りんご体育館 (旭川市総合体育館)	観客数 : 1,491		
開始時間 : 14:30	終了時間 : 16:36	試合時間 : 02:06		
主審 : 浅井 唯由	副審 : 村中 伸			
<b>ヴォレアス北海道</b>	通算 2勝 28敗 ポイント: 8	19 第1セット 25	<b>ウルフドッグス名古屋</b>	通算 22勝 8敗 ポイント: 67
<b>監督コメント</b> WD名古屋に対してできる限り対抗しましたが、彼らの方が優れたチームでした。昨日と同様、WD名古屋は好調なサーブでスタートし、ブロックも修正を加えていたことで、サイドアウトに苦戦しました。 第3セットは安定したパフォーマンスを維持し、サイドアウトもしっかりと取ることができ、第4セットはそのレベルを維持できていませんでしたが、今日はWD名古屋のアウトサイドヒッターを止めることができました。オポジットとミッドスを減らすことに努めなければなりません。残りの期間でホームファンの力強いサポートのおかげで、困難な瞬間を乗り越えることができました。両日ともホームでプレーできて楽しかったです。ありがとうございました。	3	15 第2セット 25	<b>監督コメント</b> 最後まで両チームへご声援を送ってくださった皆さんのパレーボールファンの皆様、また会場以外で本日の試合を見守ってくださった世界中のパレーボールファンの皆様、本当にありがとうございました。 昨日の試合と同様に、非常に苦しい場面があったために、自分たちのリズムが作れずに難しい試合となりましたが、選手たちは会場のファンの声援に後押しされ、最後まであきらめない気持ちで戦い抜くことができました。これからも挑戦的な試合が続きますが、その場でしか味わえない時間と空間を共に過ごしたいと思います。	
		25 第3セット 22		
		15 第4セット 25		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> 第1セット、序盤からヴォレアス北海道はボールを集め主導権を握ろうとするが、ウルフドッグス名古屋はクレクの攻撃や山崎のサービスエースで流れを掴みリードする。中盤以降、WD名古屋は永露のトスワークが冴え、最後までリードを許さなかったWD名古屋がセットを先取る。第2セット、前セットの流れをそのままに、WD名古屋はブロックや攻撃が効果的に決まり、徐々に点差を広げる。ヴォレアスは中盤、古賀と本澤を投入し流れを変えようと試みるが最後まで流れを渡さなかったWD名古屋がセットを連取する。 第3セット、後のないヴォレアスは序盤から粘りを見せ、一進一退の攻防になる。WD名古屋はクレクの高さのある攻撃で攻め、対するヴォレアスは張の切れのある攻撃で対抗する展開になる。中盤、ヴォレアスは張のレシーブから戸田がスパイクを決める好プレーでリズムを乗り、リードを奪う。最後は戸田が相手コートにボールを押し込み、ヴォレアスがセットを取り返した。 第4セット、中盤まで両チーム打ち合う展開になる。中盤以降、WD名古屋は徐々に流れを掴み、点差を広げ、最後はクレクがスパイクを決め、WD名古屋が勝利した。				
試合番号 : 248	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 2,263		
開始時間 : 13:30	終了時間 : 15:04	試合時間 : 01:34		
主審 : 森口 豊	副審 : 栗原 健輔			
<b>サントリーサンパーズ</b>	通算 25勝 5敗 ポイント: 72	25 第1セット 19	<b>東レアローズ</b>	通算 14勝 16敗 ポイント: 37
<b>監督コメント</b> 本日もサントリーサンパーズへのご声援ありがとうございました。先ずは勢いに乗っている東レアローズに2勝することができ、嬉しく思います。東レの勢い、チーム力はリーグ内でもかなり高い位置にいると思いますが、そのチームに対し引けを取らない勢いで戦うことが継続して行けたことは大きな成長だと感じています。今後、益々順位争いは激しいものになることが予想されます。一戦毎に課題と向き合い、成長しファイナルに向け更にチーム力を向上させていきたいと思います。ホームゲームでの多くのファンの皆様の声援が我々の力になります。引き続き“PLAY HARD”をしながら共に成長していきましょう。2日間素晴らしい環境で試合をすることが出来ました。ありがとうございました。	3	25 第2セット 22	<b>監督コメント</b> 今日の試合は、サントリーサンパーズの攻撃、守備ともにクオリティが高く、我々のパレーボールを全くさせてもらえませんでした。今日のような試合をしているようではV・ファイナルステージに進むことはできないので、もう一度チームを立て直し、来週に臨みたいと思います。本日は皆さんの応援ありがとうございました。	
		25 第3セット 14		
		第4セット		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> 昨日の熱戦やめらぬ顔顔を残り、ホームで東レアローズを迎え撃つサントリーサンパーズの一戦。第1セット、先制したのは東レ。しかし、サントリー・ムセルスキーのスパイク、小野寺のブロックで逆転に成功。対する東レはパダルのスパイク、サービスエースで再びリードすると試合は中盤まで1点を争う展開へ。先に抜け出したのはサントリー。大宅、佐藤のブロック、ムセルスキー、アラインがスパイクを決めると、一気に攻め立てこのセットを先取る。第2セット、サントリーは勢いをそのままにムセルスキーにボールを集め得点を重ねると、藤、藤中(颯)が好レシーブを見せリードを保ったままセットを連取する。第3セット、後がない東レは、流れを引き戻そうと重藤、真子、峯村と起用するが、サントリー・アラインや甲斐の攻撃を止めることができず、最後もアラインがスパイクを決め、ストレートでサントリーが勝利を取めた。				
試合番号 : 249	試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公苑第1体育館)	観客数 : 1,491		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:36	試合時間 : 01:36		
主審 : 澤 達大	副審 : 中山 健			
<b>ジェイテクトSTINGS</b>	通算 10勝 20敗 ポイント: 30	25 第1セット 17	<b>東京グレートベアーズ</b>	通算 12勝 18敗 ポイント: 41
<b>監督コメント</b> 昨日と同じ作戦で今日の試合に臨みましたが、昨日に比べ選手たちに勢いがあり、積極的にプレーしてくれました。本日も皆さんの声援ありがとうございました。来週も大事な試合が続きますので応援よろしくお願いいたします。	3	25 第2セット 18	<b>監督コメント</b> 本日も皆さんの応援ありがとうございました。V・ファイナルステージ進出をするためにもとても大切なゲームでしたが、取りきることができず悔しいです。ただ、今週1勝をとれたことも事実ですので、来週からの残りのゲームで勝てるように準備していきたいです。今日はオフェンスが作れなかったため、その修正ができた方が良いと思います。本日も応援ありがとうございました。	
		29 第3セット 27		
		第4セット		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> 前日の敗戦から何としても流れを変えたいジェイテクトSTINGSと連勝して良い流れをキープしたい東京グレートベアーズの一戦。第1セット、互いのリベロの好プレーが続く中、ジェイテクトは関田のサーブとウルナウトの豪快なスパイクで流れを作る。東京GBは徐々に点差を詰めるが流れを断ち切ることはできず、ジェイテクトがセットを先取る。第2セット、序盤は一進一退の攻防となるが、ジェイテクトは村山のブロックポイントから流れを掴む。東京GBも負けじとアラウジョを軸に緩急をつけた攻撃を仕掛けるが、ジェイテクトが押し切りセットを連取した。第3セット、後がなくなった東京GBはコートを広く使って攻撃をする。ネット際の攻防も激しく点の取り合いになる。東京GBが先にセットポイントを握るが、ウルナウトの得点でジェイテクトが追いつき、両者、激しい攻撃が飛び交うデュースの末、ジェイテクトが押し切り、勝利を取めた。				
試合番号 : 250	試合会場 : 東広島運動公園体育館	観客数 : 1,475		
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:35	試合時間 : 01:35		
主審 : 本間 明	副審 : 原 啓之			
<b>JTサンダーズ広島</b>	通算 20勝 10敗 ポイント: 60	25 第1セット 21	<b>VC長野トライデンツ</b>	通算 1勝 29敗 ポイント: 6
<b>監督コメント</b> ストレートで勝利したものの、試合を通して波があるパフォーマンスだった。V・ファイナルステージは確定したが、このプレーが不安定な部分は解消していかなければならないと感じた。ファンの皆様ご声援ありがとうございました。	3	25 第2セット 22	<b>監督コメント</b> 昨日の反省を活かし、本日の試合に挑みましたが、各セット後半での失点があり、セットを取る事ができませんでした。サーブで追い込む場面も昨日より多くありましたが、相手の上手さで自分達が崩され、1点を取る難しさに苦しめられました。今シーズンも残り試合が少なくなってきましたが、最後まで成長しながら決してあきらめることなく、全員全力で目の前の試合に挑んでいきたいです。本日も沢山のご声援ありがとうございました。来週のホームゲームでものご声援もどうぞよろしくお願いいたします。	
		25 第3セット 23		
		第4セット		
		第5セット		
<b>要約レポート</b> V・ファイナルステージを決めたいJTサンダーズ広島とリーグ終盤に向け勢いをつけたいVC長野トライデンツの一戦。第1セット、序盤にVC長野は工藤のサービスエースとトレントのアタックでリードした。JT広島も江のサービスエースとラッセルのアタックで応戦する。ここでJT広島はさらに、安永のブロックと武智、江のアタックで大きくリードを広げていく。粘るVC長野は橋のアタック、トレントのブロック、下川のサービスエースなどで2点差まで詰めたが、ここからJT広島は三輪の速いアタックなどで少しづつリードを広げると、最後は武智が球のあるアタックを決め先取した。第2セット、VC長野は工藤がアタックとサーブで得点を挙げる。JT広島も江、ラッセルのアタックで応戦して中盤まで互角の攻防を繰り返す。JT広島はラッセルがアタックを決めてリードを奪うもVC長野も橋と工藤の高さあるアタックが決まり主導権を握らせない。しかし、終盤にJT広島は武智、ラッセルのアタックで徐々に点差を広げて連取した。第3セット、後がないVC長野は中野、工藤のアタックでリードしたが、JT広島もすぐに武智、ラッセルのアタックで応戦して再びリードを奪う。それでもVC長野は工藤の強烈なアタックと下川のブロックで中盤に追いつき、終盤まで一進一退の攻防を繰り返した。終盤にVC長野は中野がアタックを決める活躍を見せ粘ったが及ばず、JT広島が地元の大応援を力にホームゲームを勝利で飾り、V・ファイナルステージ進出を決めた。				